



さいたま市ソフトボール

発行人 市ソ協会長
田中一弘
編集人 広報委員長
田口秀夫

事務局 〒330-0818 048-683-5204 さいたま市見沼区山60-1 白子節子方

新しい歴史が始まる！ 堂々の市ソ協総合開会式執り行う。

初めの一步に二〇〇〇人の参加

四月二十日荒川総合グラウンドで、「さいたま市ソフトボール協会」の第一回春季大会総合開会式が行われた。一般男子・女子・壮年・実年・シニア・小学生男女・クラブ一、三部登録等の六十チーム・一〇〇〇余人及び協会側の役員・理事・審判員等四〇余人が参加し盛大な開会式となった。

田中会長は「多くの人達の協力を得て、斯くも見事な開会式となりました。三市合併により昨年の十二月二日、協会が創立しました。私もかつて経験したことのない、大きな規模の組織になります。日ソ協・県ソ協・市体協への加盟ルートも明確になりました。今後役員、選手とも力を合わせ立派な協会にしましょう」と挨拶がありました。

浅見理事長は「さいたま市をソフトボールのメツカに、ソフトのさいたまと言われる様、そして運営をこの協会に任せても大丈夫と言う信頼される組織にしたい」と述べられた。

県ソ協生方理事長、県ソ協東支西部西沢会長、内外ゴム(株)社長の三人の来賓を代表して生方理事長の祝辞がありました。「県下最大の協会が誕生しました。川口女子高を育て、全国優勝を数回、その後の県高校ソフト界の黄金期を作った田中会長は立派な指導者です。円満、円滑な協会運営をその田中先生のリーダーシップに期待いたします。さいたま市ソフトボール協会の発展をお祈りします。又相川宗一さいたま市長の「第一回春季大会総合開会式開催をお喜び申し上げます。皆さんの日頃の練習での成果を發揮され、充実したシーズンを期待します。貴協会の更なる発展をお祈りします」との祝電が披露され、参加者の拍手が大きくグラウンドにこだました。

協会加盟百十三チームを代表し、日進パーク主将・寛重夫さんが「新生協会の門出の第一回大会に我々選手一同はスポーツマンシップにのっとり、正々堂々力いっぱい戦います」と記念すべき選手宣誓を行った。

開会式の来賓・会長
理事長・副会長



選手宣誓の「日進
パーク」寛主将



技術講習会も併合開催さる。

四月二十日、開会式直後浅見理事長が講師となり、ソフトボール技術講習会が行われた。クラブ一部の「埼玉県庁クラブ」の選手が模範投球動作の指導を行った。遠心力を利用し、スナップを利かせ、フィニッシュ、音、更に残心と、きめ細やかに一人一人手を取り、自ら熱血指導。守備、打撃については一般男子の希望者が全国レベルの皮ボール投手を相手にバッティング、見事に打って一塁に全力疾走するという和やかな演出もあり和気あいあい。楽しい講習会であった。

県ソ協強化委員長でもある浅見理事長は講評で「特に小学女子のピッチングを見た限りでは、指導者、コーチの方々の指導、育成方法が良いのでしよう。直すところはありませんが、良い面を更に伸ばして下さい」と述べていた。

参加の小学女子選手は「全日本クラスの選手、監督に基本からピッチング、打撃を指導してもらい大変嬉しい」と感激していた。

強豪の小学女子チームのコーチは「良く指導されていますと言われ、指導方針が間違っていないなかつたと自信ができました。明日からの練習にも張り合いができて、励みになります」と述べられ大変好評であった。

さいたま市一般男子ソフトボール大会に 大優勝旗の寄贈が！

六月吉日 さいたま市ソフトボール協会に協賛団体の「内外ゴム株式会社」様より大優勝旗の寄贈がありました。一般男子ソフトボール大会の優勝チームに有り難く使わせて戴きます。



内外ゴム(株)様より寄贈の大優勝旗

副会長に黒沢信義さんが就任

四月十七日常任理事会で、副会長に黒沢信義さんの就任を承認した。
(四月二十日付機関紙に掲載出来ませんでした故)

組織担当分掌が決まりました。

このほど組織が大きくなり副理事長以上の各部署別の主担当が次の通り決定しました

田中 勉・河村展良 総務、記録、二委員会
和田隆雄・榎本靖二 財務、事務局、一委員会一局
浅見 茂・直井寛治 審判委員会、一委員会
黒沢信義・渡辺 充 競技、広報(放送)二委員会
事務局の職務分掌は全員で分担、連絡を取り合いフォローする事になりました。

一般男子春季大会

JR東日本大宮工場に大優勝旗
大谷場東小PTA準優勝

N・S・Cは長蛇を逸す、尖鋭のインディアンス
四月二十日、七月十三日荒川グラウンド、宝来グラウンドにて、第一回一般男子ソフトボール春季大会が四十八チームの参加で開催された。

四月二〇日(荒川総合・秋ヶ瀬)

一回戦

N・S・C 7 0 まとい
大東小PTAソフトボール同好会 4 3 三橋六丁目ソフト部
東新井団地 7 0 中郷ソフトボール愛好会
上小ソフト 8 x 1 中川自治会ソフト部
盆栽ブレイズ 7 4 今羽ソフトボールクラブ
ドリフターズ 2 1 0 銀龍ファミリーズ
JR東日本大宮工場 1 5 1 加茂川ソフトボールクラブ
上木崎小PTAソフトボール同好会 1 7 2 三橋四丁目ソフト部
別所ソフトボールクラブ 8 1 植竹ウイングス
ベアーズ 2 0 1 佐知川上ソフトクラブ
北馬宮ソフトボールクラブ 6 2 三橋三丁目ソフトボールクラブ
小松台イーグルス 1 7 7 ラミーユソフトボール同好会
蓮沼ファイブ 8 2 老竹
道祖土ソフトボール同好会 1 1 1 シンセイ
馬宮ウルヴスソフトクラブ 1 3 1 2 桜木アングルズ
カスラーズ 1 1 0 馬宮右岸SBC
マスターズ 9 0 へいしろう

二回戦

N・S・C 2 1 日進パーク
大東小PTAソフトボール同好会 2 4 4 馬宮コンドルズ
東新井団地 1 6 4 大成ソフトボールクラブ
盆栽ブレイズ 7 6 宮原一丁目ソフトボール同好会
ドリフターズ 6 2 M2ソフトクラブ
JR東日本大宮工場 1 7 1 桜木フォアーズ
上木崎小PTA同好会 1 3 0 グランドシティSBC
別所ソフトクラブ 2 2 奈良ソフトボールクラブ(抽選)
ベアーズ 1 2 2 エース今羽
大谷場東小PTAソフトボールクラブ 7 3 北馬宮ソフトクラブ
FSCバーボンス 1 3 4 小松台イーグルズ
蓮沼ファイブ 1 2 2 東西御蔵サンディーズ
道祖土ソフトボール同好会 1 0 0 H.P.Wings
インディアンス 1 7 0 馬宮ウルヴスソフトクラブ
カスラーズ 9 0 マスターズ

五月四日(荒川総合)

三回戦

N・S・C 8 1 大東小PTAソフトボール同好会
上小ソフト 4 2 東新井団地
ドリフターズ 8 5 盆栽ブレイズ
JR東日本大宮工場 4 3 上木崎小PTAソフトボール同好会
ベアーズ 6 6 別所ソフトボールクラブ(抽選)
大谷場東小PTAソフトボールクラブ 1 0 0 FSCバーボンス
蓮沼ファイブ 6 3 道祖土ソフトボール同好会
インディアンス 6 5 カスラーズ

五月十八日(宝来)

準々決勝戦

N・S・C 7 x 4 上小ソフト
JR東日本大宮工場 7 0 ドリフターズ(不戦勝)
大谷場東小PTAソフトボールクラブ 7 2 ベアーズ
インディアンス 6 x 0 蓮沼ファイブ

七月十三日(荒川総合)

準決勝戦

JR東日本大宮工場 4 x 3 N・S・C
大谷場東小PTAソフトクラブ 7 2 インディアンス

決勝戦

JR東日本	5	4	0	0	9	山田	志村
大谷場東小	1	0	2	1	4	松坂	河村 小林

第一回優勝のJR大宮工場に賞状・優勝旗・盾、準優勝の大谷場東小に賞状・盾の授与が行われた後、会長の代理田中勉副会長より、四月二十日より四十八チームの参加で、天候にも恵まれ熱戦が展開しました。どのチームが優勝しても不思議でないほどチーム力が接近していました。優勝したJRは十五年度の県民総体には、さいたま市の代表として、堂々と恥ずかしくない試合をして下さい」と講評を行い、四ヶ月に亘る熱戦に終止符がうたれた。試合後、「JR東日本・渡辺監督」は「旧大宮協会時代には六回優勝体験をしています。新生協会でも勝たなければ面目が立ちません。永年培ってきたチームワークで県大会でもガンバリます」と語った。

春季大会優勝のJR東日本と大宮クラブ



一般女子春季大会

二強のバトル・直接対決で
大宮クラブがレッドエンジェルスを降す

四月二十九日(荒川総合)、第一回さいたま市一般女子の春季大会が7チームの参加で開催された。
ブルーキャッツ大宮 5 5 日進フレッシュレディーズ(抽選)
RED ANGELS 1 3 0 七里ベアーズ
カレンズ 7 6 FSCヤンチャリカ
RED ANGELS 8 7 ブルーキャッツ大宮
大宮クラブ 6 0 カレンズ

決勝戦

大宮クラブ 1 1 2 RED ANGELS

バッテリー

「大宮」森田 菊地、「レ」森口 早水

優勝した「大宮クラブ」は昨年の土屋会長杯を制したブルーキャッツ大宮の若手メンバーで興じたチームで、「レッドエンジェルズ」とは初顔合わせの対決となった。宮商出身の「レッド」、宮工・開成等のOGで編成した「大宮クラブ」...「クラブさばき、バットスイング、走塁、ピッチング等何れも洗練された動きで、両チーム見ごたえのある攻防であった。打撃に勝る「大宮クラブ」がブルーキャッツの宿敵「レッドエンジェルズ」を圧倒し文字通り本家の仇を討ち、まず先勝し初代の優勝チームと輝いた。
渡辺副理事長は表彰式での講評で、第一回の一般女子の大会が盛大に行われ、おめでとございませぬ。競技役員・審判員、そして選手の方には多忙の中、立派に開催を立ち上げていただきませぬ。願わくは次大会はもっと多くの仲間を増やし、楽しい女子の大会を開きましよう」と締めくくった。



シニア春季大会

シニアは浦和 S・G が優勝!

五月十一日、六月二日(荒川総合)、9チーム参加
浦和 S・G 4 0 大宮レインボーズ
日進三オールドギャンクス 5 4 FSC トックリーズ
浦和クラブ 1 0 ハリケーンシニア
七里オレンジナイン 7 5 大砂土シニア
浦和 S・G 2 1 1 日進三オールドギャンクス

3位決定戦

七里オレンジナイン 7 3 日進三オールドギャンクス

決勝戦

浦和 S・G 7 X 2 浦和クラブ

バッテリー

「浦和 S・G」田口 山内、「浦和ク」上原・丸谷 杉本
優勝を飾った「浦和 S・G」の68歳のエース田口投手は
3連投で3回戦では最終回に味方の内野エラーで惜しく
もパーフェクトをのがした。

和田副会長は表彰式の講評で「高齢化時代にスポーツを
愛し、澁刺といつまでも元気で活躍の、皆さんの姿は若
い者の励みになります、又中年・熟年の私どもには、希望
が持てるものです、いつまでも若々しくガンバってください
」と激励した。

壮年春季大会

壮年は「大東小PTAソフトボール同好会」

五月二五日(荒川総合) 4チーム参加

上木崎小PTAソフト同好会 9 0 若草リリース

大東小PTAソフト同好会 7 0 三橋一丁目ソフト部

3位決定戦

若草リリース 4 3 三橋一丁目ソフト部

決勝戦

大東小PTAソフト同好会 5 4 上木崎小PTA
ソフト同好会

バッテリー

「大東小P」横田 前、「上木崎小P」出崎 山崎
表彰式で榎本副理事長より「4チームではさびしいので白
熱した試合がたくさん行えますよう、参加するチームを皆
さん方も勧誘してください」と要請した。

実年春季大会

実年は「ハリケーン」が圧勝す!

六月一五日(荒川総合) 4チーム参加(一チーム棄権)
シャトルスターズ 1 3 8 東新井団地
ハリケーン 8 3 日進パーク
3位決定戦
日進パーク 9 3 東新井団地

決勝戦

ハリケーン 1 2 3 シャトルスターズ

バッテリー

「ハリ」福井・川島 高田、「シャ」土屋・榎本 石橋

各クラスでの優勝チームの皆さん達



シニア [浦和 S・G]



実年 [ハリケーン]



壮年 [大東小PTA]



技術講習会風景

小学生男女春季大会

礼にはじまり礼に終わる。

小学生大会 男子V「さくらフェニックス」
女子V常盤ソフトボールスポーツ少年団
六月二九日、七月十三日、大宮土高・荒川総合にて、第一回小
学生男女ソフトボールの春季大会が、男子13チーム、女子6
チームの参加で開催された。

【女子】

大久保スポーツ少年団 8 リトルレモンズ(抽選)
指扇ライオンズ女子ソフト 5 2 沼影スポーツ少年団
常盤ソフトスポーツ少年団 3 9 1 大久保スポーツ少年団
最扇ライオンズ女子ソフト 1 1 1 若竹ソフトボール

3位決定戦

七月十三日(荒川総合)
大久保スポーツ少年団 1 3 8 若竹ソフトボール

決勝戦

常盤ソフトスポーツ少年団 1 7 0 指扇ライオンズ女子ソフト

バッテリー

「常盤」久原 豊留、「指扇」菊池 石垣

【男子】

六月二九日(大宮土高)
文蔵ソフトスポーツ少年団 1 7 4 南浦和スポーツ少年団
若竹ソフトボール 8 2 上木崎ソフトボール少年団
指扇ライオンズ少年ソフト 1 1 0 道祖土スポーツ少年団
常盤ソフトスポーツ少年団 1 6 1 大久保スポーツ少年団
さくらフェニックス 8 1 土呂スポーツ少年団
文蔵ソフトスポーツ少年団 1 3 8 西浦和スポーツ少年団
指扇ライオンズ少年ソフトクラブ 6 X 5 若竹ソフトボール
常盤ソフトスポーツ少年団 5 1 太陽フェニックス
さくらフェニックス 0 0 大東ソフトスポーツ少年団(抽選)

3位決定戦

七月十三日(荒川総合)
常盤ソフトスポーツ少年団 5 0 文蔵ソフトスポーツ少年団

決勝戦

さくらフェニックス 6 2 指扇ライオンズ少年ソフトクラブ

バッテリー

「さくら」西野 山田、「指扇」保坂 木村

参加チームの選手は何れも明るく元気で大きな声で挨拶の出
来る子供達であった。指導者・コーチ・母集団のお母さん方の
熱心なスポーツ少年団活動、地域の子のソフトボールを通じて
の健全育成運動の成果である。恒例により色とりどりのテント
村が出来、子供達の活躍に声援を送る父兄の姿、精一杯闘って
負けて泣きじゃくる子、それを、さとしなくさめるコーチ。
他の大会には無い純真な気持ちになる独特の小学生大会。
夏休みには心身をきたえ又秋大会にガンパロー!

【県登録チームの戦歴(県南支部)】
第十五回全国健康福祉祭ねりんびつく県南支部予選会

- 四月六日 (桶川市) 十八チーム参加
浦和クラブシニアーズ 3 4 上尾西部シニアソフト
浦和S・G 2 1 0 七里オレンジ
浦和S・G 2 2 0 FSCトックリーズ
大宮レインボーズ 4 1 上尾シニアサンデーズ
大宮レインボーズ 0 6 上尾シニアーズ
ハリケンシニア 9 8 上尾イースタンS
四月六日 (鳩ヶ谷市) 三チーム参加
OMIYACCLUB 5 4 川口クラブ
第十四回関東クラブ男子普及県南支部予選会
四月十三日 (草加市) 二十七チーム参加
インデアンス 2 9 x 武蔵
ベアーズ 5 1 2 東二グリーンズ
マスターズ 1 7 東二グリーンズ
上尾小PTAソフト同好会 3 7 鳩ヶ谷クラブ
別所ソフトボールクラブ 2 7 北小クラブ
ドリフターズ 4 3 青柳クラブ
ドリフターズ 4 3 鴻巣クラブ
N・S・C 0 5 上尾ツインズ
FSCバーボンス 0 7 x 上尾ツインズ
第十七回全日本シニア大会県南支部予選会
四月二十七日 (朝霞市) 十八チーム参加
大宮レインボーズ 1 4 3 吹上ピガアズ
FSCトックリーズ 0 1 1 川口シニアクラブ
浦和クラブシニアーズ 2 1 上尾シニアサンデーズ
ハリケンシニア 3 7 在家シニア
七里オレンジナイン 1 1 5 在家シニア
浦和S・G 5 6 新座シニア
第十八回全日本壮年県南支部予選会
五月十一日 (草加市) 六チーム参加
上尾小PTAソフト同好会 5 2 栄シックス
大東小PTAソフト同好会 1 3 草加ゴールドクラブ
大東小PTAソフト同好会 9 2 北本クラブ
第二十回土屋会長杯県南支部予選会(男子)
六月二十九日 (志木市、伊奈町) 二十九チーム参加
ドリフターズ 3 6 北小クラブ
カスラーズ 1 2 6 ベアーズ
カスラーズ 1 6 武蔵
別所ソフトボールクラブ 9 3 FSCバーボンス
別所ソフトボールクラブ 8 9 石神ミドルズ
上尾小PTAソフト同好会 1 0 2 インデアンス
上尾小PTAソフト同好会 0 2 鳩ヶ谷クラブ
N・S・C 0 6 青柳クラブ
マスターズ 3 2 東二グリーンズ
マスターズ 4 2 上尾ツインズ

第十二回関東小学選抜男女大会県予選会

- 三月三十日、四月六日
三月三十日 (深谷市) 十八チーム参加
大東ソフトスポーツ少年団 1 0 1 南イグルス
大東ソフトスポーツ少年団 6 4 下黒谷育成会
大東ソフトスポーツ少年団 1 2 x 0 佐谷田ベアーズ
大東ソフトスポーツ少年団 2 1 奈良クラブ
大東ソフトスポーツ少年団 0 4 籠原ジュニアフェニックス
大陽フェニックス 1 8 0 諏訪クラブ
大陽フェニックス 0 8 奈良クラブ
常盤スポーツ少年団 4 1 さくらフェニックス
常盤スポーツ少年団 9 0 文蔵ソフトスポーツ少年団
常盤スポーツ少年団 4 5 籠原ジュニアフェニックス
さくらフェニックス 1 3 1 玉井
文蔵ソフトスポーツ少年団 1 4 2 正善スポーツ少年団
指扇ライオンズ男子ソフト 0 7 x 籠原ジュニアフェニックス
(女子) 十六チーム参加
常盤スポーツ少年団 8 5 指扇ライオンズ女子ソフト
常盤スポーツ少年団 1 6 7 武里ソフトスポーツ少年団
常盤スポーツ少年団 4 7 毛呂山ウイングス
四月十一日
第十七回全日本小学生県南支部予選会
四月十一日
(男子) 十七チーム参加 (川口市)
指扇ライオンズ男子ソフト 7 1 根岸第三子供会
指扇ライオンズ男子ソフト 0 1 2 根岸第三子供会
南浦和スポーツ少年団 0 2 4 常盤スポーツ少年団
文蔵ソフトスポーツ少年団 2 0 5 道祖士スポーツ少年団
文蔵ソフトスポーツ少年団 4 2 東内野少年ソフト
上尾ソフトボール少年団 9 1 0 太陽フェニックス
大東ソフトスポーツ少年団 6 2 大久保スポーツ少年団
大東ソフトスポーツ少年団 8 3 太陽フェニックス
大久保東スポーツ少年団 1 4 神根東スポーツ少年団
さくらフェニックス 1 4 0 土呂スポーツ少年団
さくらフェニックス 5 1 神根東スポーツ少年団
土呂スポーツ少年団 6 5 根岸タイガース
(女子) 十二チーム参加
大久保スポーツ少年団 1 9 4 1 鴻巣クイーンズ
常盤スポーツ少年団 1 4 1 川口フレンズ
常盤スポーツ少年団 1 3 0 指扇ライオンズ女子ソフト

第十四回関東クラブ男子普及県予選会

- 五月十一日、十八日(本庄市)
ドリフターズ 1 3 0 鳩ヶ谷クラブ(鳩ヶ谷市)
ドリフターズ 0 1 0 ロック(所沢市)
さいたま市(県南予選出場7チーム)より唯一県大会の
代表権を獲得した「ドリフターズ」は一回戦を全員得点
の5回コールド勝ちで2回戦に進んだが、惜しいチャン
スを再三逃し、両チーム無得点のままタイブレーカーに
突入し、ついに負けてしまいました。(藤田監督談)
健闘ご苦労さんでした。尚「ドリフターズ」はさいた
ま市大会でも準々決勝に進出したが、この大会と重なっ
たため、市の大会は不戦敗になってしまいました。市協
会としても今後日程等をよく調整し、このような事にな
るべく起こらないような計画を立てたいと思います。
編集後記
三市合併に伴い発足した「さいたま市ソフトボ
ール協会」も役員各位の努力と、会員皆様のご協
力により初年度の総合開会式を行い、活動がスタ
ートいたしました。よかったですね!
前期の広報誌2号をお届けします。
副会長(競技、広報担当) 黒沢 信義
第一回さいたま市ソフトボール春季大会の全種
目を皆様のご協力により無事終了する事ができま
した。これからも競技委員会、広報委員会を補佐
し協会運営に少しでもお役に立つよう努力いたし
ます。宜しくご協力をお願いいたします。
副理事長(競技、広報担当) 渡辺 充
第2号は総合開会式・春季大会の130数試合
の結果を掲載したので取材と記事を全てまとめた
広報委員長の田口さんは毎日深夜まで大変苦労さ
れたようです。私は広報担当でもないのに委員長
との大宮協会からのしがらみで、私も同様で女房
まで巻き込み、少しでも読みやすい紙面づくりに
日夜がんばっています。何回作り直しても満足出
来ません。早く何方か代わってください。
副理事長(財務、事務局担当) 榎本 靖一
四月二十日の開会式にご臨席戴いた県ソフト協生方
理事長に広報誌創刊号をお見せいたしましたところ、
「いいのが出来たね」と褒められました。今号
は黒沢副会長、渡辺・榎本副理事長、信田県南理
事各氏の協力で、さらに充実したものが出来まし
た。感想、意見をお寄せください。
広報委員長 田口 秀夫